

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	総合演習 I
科目基礎情報					
科目番号	0087	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科	対象学年	4		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材					
担当教員	廣瀬 康之				
到達目標					
以下の項目を目標とする。 1. プレゼンテーション能力を身につける 2. 自己分析および他者理解を通して、コミュニケーション能力を身につける 3. 社会基盤整備、循環型都市づくりのための専門分野の基本的知識を理解する 4. 一般分野の知識を広く身につける 5. 卒業研究について予備知識を得る 岐阜高専ディプロマポリシー：(A) および (C)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	適切なプレゼンテーション能力を身につけることができる。	適切なプレゼンテーション能力をある程度身につけることができる。	適切なプレゼンテーション能力を身につけることができない。		
評価項目2	自己分析および他者理解を通して、コミュニケーション能力を身につけることができる。	自己分析および他者理解を通して、コミュニケーション能力をある程度身につけることができる。	自己分析および他者理解を通して、コミュニケーション能力を身につけることができない。		
評価項目3	社会基盤整備、循環型都市づくりのための専門分野の基本的知識を十分理解している。	社会基盤整備、循環型都市づくりのための専門分野の基本的知識をある程度理解している。	社会基盤整備、循環型都市づくりのための専門分野の基本的知識を全く理解していない。		
評価項目4	一般分野の知識を広く身につけている。	一般分野の知識をある程度身につけている。	一般分野の知識を身につけていない。		
評価項目5	卒業研究について、予備知識を正確に得ることができる。	卒業研究について、予備知識をある程度得ることができる。	卒業研究について、予備知識をあまり得られていない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本授業では、これまで環境都市工学科で学んできたことを総合的に演習する。各自が講師となり、自身が調べた企業研究の成果を説明することで、プレゼンテーション能力を身につける。また、様々な業種の方にヒヤリング調査を行い、建設業界の仕組みについて理解を深めるとともに、自己のキャリアパスを描けるようにする。				
授業の進め方・方法	各自で調べた企業研究の成果を他者にわかりやすく伝える。自己分析や他者理解を深める。企業の方の説明を聞いて、業界の仕組みについて知る。各教員より研究内容のガイダンスを受け、各自が卒業研究として取り組みたいテーマについて予習を行う。 英語導入計画：Technical terms				
注意点	授業の内容を確実に身につけるために、予習・復習が必要である。 なお、成績評価には授業外学習の内容は含まれる。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業の進め方のガイダンス、プレゼンテーション実践1(ALのレベル：A)	適切なプレゼンテーション能力を身に付ける（教室外学習：プレゼンテーションの内容を考える）	
		2週	プレゼンテーション実践2(ALのレベル：A)	適切なプレゼンテーション能力を身に付ける（教室外学習：プレゼンテーションの方法を確認する）	
		3週	プレゼンテーション実践3(ALのレベル：A)	適切なプレゼンテーション能力を身に付ける（教室外学習：プレゼンテーションの内容及び方法について考察する）	
		4週	就職活動のための業界研究1(ALのレベル：C)	自己分析する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		5週	就職活動のための業界研究2(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		6週	就職活動のための業界研究3(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		7週	就職活動のための業界研究4(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		8週	就職活動のための業界研究5(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
	4thQ	9週	就職活動のための業界研究6(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		10週	就職活動のための業界研究7(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		11週	就職活動のための業界研究8(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		12週	就職活動のための業界研究9(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	
		13週	就職活動のための業界研究10(ALのレベル：C)	建設業界の仕組みを調査する（教室外学習：レポートにまとめる）	

	14週	社会のニーズと卒業研究テーマ1(ALのレベル：C)	社会のニーズを調査する。卒業研究の予備知識を得る。 (教室外学習：卒業研究の内容理解)
	15週	社会のニーズと卒業研究テーマ2(ALのレベル：C)	社会のニーズを調査する。卒業研究の予備知識を得る。 (教室外学習：卒業研究の内容理解)
	16週		

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的 能力	態度・志向性 (人間力)	態度・志向性	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
			その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	
			キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
			企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
			企業には社会的責任があることを認識している。	3	
			企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	
			調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	
			企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	
			社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	
			技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げるができる。	3				
高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3				

### 評価割合

	後期	合計
総合評価割合	100	100
課題	100	100